

文部科学省委託事業

「ICT を活用した教育推進自治体応援事業」

(ICT 活用指導力調査項目の改善に向けた調査研究)

実施報告書

平成 29 年 3 月 24 日

日本教育新聞社

目次

・ 調査研究概要	2-5
1.背景と目的	
2.調査研究の進め方	
3.調査期間とフロー	
・ 調査活動	
1.試行調査	6-19
1-1 調査概要	
(1) 調査対象校の抽出について	
(2) 調査対象者	
(3) 抽出後の学校への依頼調整について	
(4) 調査期間	
(5) 調査方法	
(6) サンプル数・回収結果	
1-2 調査結果	
(1)回答者の属性	
(2)現行調査結果	
(3)試行調査結果	
2.校長向け調査	20-27
1-1 調査概要	
(1) 調査対象校の抽出について	
(2) 調査対象者	
(3) 抽出後の学校への依頼調整について	
(4) 調査期間	
(5) 調査方法	
(6) サンプル数・回収結果	
1-2 調査結果	
(1)学校経営における情報化推進の状況	
(2)教員の「ICT 活用指導力」向上に向けた校長自身の取組姿勢	
(3)教育の情報化の推進のために、校長自身が取組んでいること	
(4)校長自身の ICT を活用した教育への関心度	
(5)「教員の ICT 活用指導力チェックリスト」の結果の活用状況	
(6)教育の情報化を進めるうえで校長自身が大切だと思うこと	
< 参考資料 >	
1.試行調査の調査票	
2.校長向け調査の調査票	

.調査研究概要

1. 調査研究の背景と目的

教育の情報化を推進する上で、教員のICT活用指導力を的確に把握することは極めて重要である。そのため、文部科学省においては、毎年、「学校における教育の情報化の実態に関する調査」(1)において「教員のICT活用指導力の状況」調査(いわゆるチェックリスト)を行っている。

ICT機器の進展や、次期学習指導要領を見据えて、「教員のICT活用指導力の状況」調査(いわゆるチェックリスト)調査項目の見直しを進めることは「教育の情報化加速化プラン～ICTを活用した『次世代の学校・地域』の創生」(平成28年7月29日)にも記されている。

そこで、今回、現行の調査項目と改訂後の調査項目との間で調査結果にどのような差異が生じるかを把握するために、抽出による現行の「教員のICT活用指導力の状況」調査(いわゆるチェックリスト)の項目と新たな調査項目の双方の調査(以下、試行調査)を実施した。

また「教員のICT活用指導力の状況」調査(いわゆるチェックリスト)では、授業やその準備におけるICTの活用に重きが置かれた設問設定になっている。しかしながら、ICTの環境整備やその活用なくしては、次期学習指導要領が目指す学習目標を達成できなくなりつつある今、教育の情報化における学校体制づくりや管理職のリーダーシップなどは情報化を推進するうえで重要なポイントになっている。そこで、弊社独自に「教員のICT活用指導力の状況」調査(いわゆるチェックリスト)に関連した校長向け調査(以下、校長向け調査)も実施した。

(1) 文部科学省「学校における教育の情報化の実態に関する調査」について

・文部科学省では、「IT新改革戦略」(平成18年1月IT戦略本部決定)に基づき、教員のICT活用指導力の基準の具体化を図り到達目標を明確にするため、「教員のICT活用指導力の基準の具体化・明確化に関する検討会」(座長：清水康敬 独立行政法人メディア教育開発センター理事長)を設置し、教員のICT活用指導力のチェックリストを策定した。

・本チェックリストは、児童生徒の学習内容や学習形態に応じて、小学校版と中学校・高等学校版の2種類が策定され、「授業中にICTを活用して指導する能力」や「情報モラルなどを指導する能力」等の5つの大項目と、18のチェック項目から構成されている。

【調査課題と調査事項】

1. 「教員のICT活用指導力の状況」調査(いわゆるチェックリスト)の項目改善

試行調査で

現行の「教員のICT活用指導力の状況」調査(いわゆるチェックリスト)の項目と新たな調査項目の双方の調査

2. 「教員のICT活用指導力の状況」調査(いわゆるチェックリスト)に関連した校長の取組み把握

校長向け調査で

「教員のICT活用指導力の状況」調査(いわゆるチェックリスト)の調査結果の学校経営への活用などの調査

2. 調査研究の進め方

アドバイザーの設置

本事業を推進するにあたり、教員の ICT 活用指導力に関する知見や学校の情報化について見識のある方にアドバイザーを依頼し、個別にヒアリングに協力をいただいた。

清水 康敬・東京工業大学 学長相談役（大学有識者）

高橋 純・東京学芸大学 准教授（大学有識者）

西田 光昭・千葉県柏市立柏第二小学校 校長（小学校）

太田 耕司・東京都千代田区立神田一橋中学校 校長（中学校）

牛来 峯聡・東京都立町田高等学校 校長（高等学校）

荒川 早月・東京都立高島特別支援学校 校長（特別支援学校）

3. 調査期間と実施のフロー

実施内容とスケジュール

実施項目	1 月	2 月	3 月	
アドバイザーヒアリング	アドバイザーの人選 ヒアリングの実施	ヒアリングの実施		
試行調査	調査案の作成検討	調査案の作成検討	調査票の発送	集計作業
校長向け調査	調査案の作成検討	調査案の作成検討		
調査要領		調査要領の作成検討		
調査校への依頼調整 など		依頼書の作成 文部科学省から教育 委員会宛の事務連絡 調査資材（案）送付 調査校への依頼調整 調査の督促		
調査校へのお礼				お礼状の送付
				報告書作成

試行調査

事務局原案をもとに、前述のアドバイザーへのヒアリングを経て、決定した。概ね原案通りとなった。（巻末に参考資料として調査票を添付）

校長向け調査

事務局原案をもとに、前述のアドバイザーへのヒアリングを経て、決定した。

教員の ICT 活用指導力に関わる設問や、教員の ICT 活用指導力調査の意義や活用について問う設問などを設定したほか、校長ご自身に回答してもらえるように工夫した。（巻末に参考資料として調査票を添付）

また校長ご自身の考えについて記載する設問があるため、回答送付時には封筒に入れて返送してもらうようにした。

調査要領

調査の流れが一目でわかるよう調査要領を作成した。事務局原案をもとに、前述のアドバイザーへのヒアリングを経て、決定した。

調査への負担軽減につながるよう工夫をし、調査の所要時間を記載するなどした。また、時間的制約があるなかでの返送となるため、郵便ポストに投函できる方法を採用するなどした。

調査校への依頼調整ほか

調査対象校を抽出後、調査校への依頼調整を図った。

具体的には調査校の設置者である都道府県教育委員会、政令指定都市教育委員会、市区町村教育委員会に連絡を取り、調査票（案）を送付して、調査の協力を依頼した。

その後、協力の回答を得た教育委員会には、該当する学校の教員数を確認し、調査協力校に対して、調査票を送付した。

調査票の返送期日を3月10日に設定した。

日にち	実施内容	備考
2/6	調査対象校の抽出	
2/7～21	都道府県教育委員会、政令指定都市教育委員会、市区町村教育委員会に調査協力依頼 ・依頼書の送付 ・調査資材（案）の送付 ・回答の確認 ・教員数の確認など	電話してメールアドレスを確認し、資料を送付
2/24	調査協力校への調査資材の送付 【調査資材】 ・依頼書 ・試行調査 ・校長向け調査 ・文部科学省から教育委員会宛の事務連絡	

	<ul style="list-style-type: none"> ・返信用レターバックライト ・校長向け調査返信用封筒 	
2/27 ~ 2/28	調査資材の学校への到着	
3/1~3/9	調査期間	
3/8	FAX による調査協力のリマインダー実施	
3/10	調査票返送日	
~3/17	調査資材の返送	

調査校へのお礼

調査協力のお礼状を送付した。

.調査活動

1. 試行調査について

1-1. 調査概要

(1) 調査対象校の抽出について

今回の調査では、悉皆で行っている現行調査の縮図とするため、全国の国公私立学校数(平成 28 年度学校基本調査)を基に地方区分別・学校種別の調査対象学校数を比例配分する。

対象校の抽出は、地域／学校種別のカテゴリー毎にランダムサンプリングを行う。対象校に所属する全教員を対象とするため、対象校は概ね 200 校(1 校あたり平均教員数 27 人、学校基本調査結果より)選定することを前提として、対象校の教員数を足し上げていく。5,000 件に足りない場合は母集団の構成比に応じて対象校を追加していく。

対象総数を 210 校とする場合の層別の件数は下表の通りとなる。

学校基本調査 学校数

	総数	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
総数	36,122	19,943	10,228	4,845	1,106
北海道	2,049	1,074	622	284	69
東北	3,548	1,951	995	484	118
関東	9,372	5,063	2,708	1,320	281
中部	6,269	3,514	1,714	832	209
近畿	5,921	3,288	1,648	806	179
中国	2,763	1,550	767	374	72
四国	1,572	901	432	192	47
九州・沖縄	4,628	2,602	1,342	553	131

調査対象

	総数	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校
総数	210	120	54	29	7
北海道	12	6	4	1	1
東北	19	11	5	3	0
関東	57	31	15	8	3
中部	36	20	10	5	1
近畿	32	19	7	5	1
中国	15	10	3	2	0
四国	10	5	2	2	1
九州・沖縄	29	18	8	3	0

(2) 調査対象者

調査対象校に所属する教員全数 総数 5,000 人程度

(3) 抽出後の学校への依頼調整について

調査対象校として抽出された学校には、所管の教育委員会を通じて、調査協力の依頼を行った。

(4) 調査期間

2017 年 3 月 1 日 3 月 9 日

(5) 調査方法

郵送調査

(6) サンプル数・回収数

サンプル数 : 210 校 5,955 件
有効回収数 : 176 校 4,668 件 (78.4%)

サンプル数

	総数		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	学校数	教員数	学校数	教員数	学校数	教員数	学校数	教員数	学校数	教員数
総数	210	5,955	120	2,549	54	1,412	29	1,183	7	811
北海道	12	308	6	99	4	92	1	17	1	100
東北	19	377	11	215	5	98	3	64	0	0
関東	57	1,926	31	740	15	449	8	295	3	442
中部	36	981	20	485	10	218	5	195	1	83
近畿	32	994	19	359	7	203	5	321	1	111
中国	15	342	10	179	3	62	2	101	0	0
四国	10	239	5	81	2	43	2	40	1	75
九州・沖縄	29	788	18	391	8	247	3	150	0	0

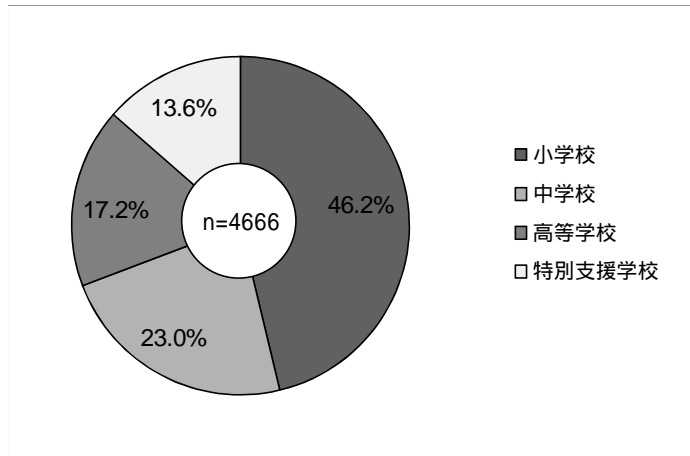
回収結果

	総数		小学校		中学校		高等学校		特別支援	
	学校数	教員数	学校数	教員数	学校数	教員数	学校数	教員数	学校数	教員数
総数	176	4,668	110	2,155	43	1,067	17	804	6	642
北海道	7	135	5	71	2	64	0	0	0	0
東北	16	290	10	194	5	67	1	29	0	0
関東	46	1,534	27	567	11	317	5	252	3	398
中部	33	829	20	459	10	214	2	83	1	73
近畿	26	716	17	304	5	133	3	182	1	97
中国	13	268	10	159	1	22	2	87	0	0
四国	8	218	4	62	2	41	1	41	1	74
九州・沖縄	27	678	17	339	7	209	3	130	0	0

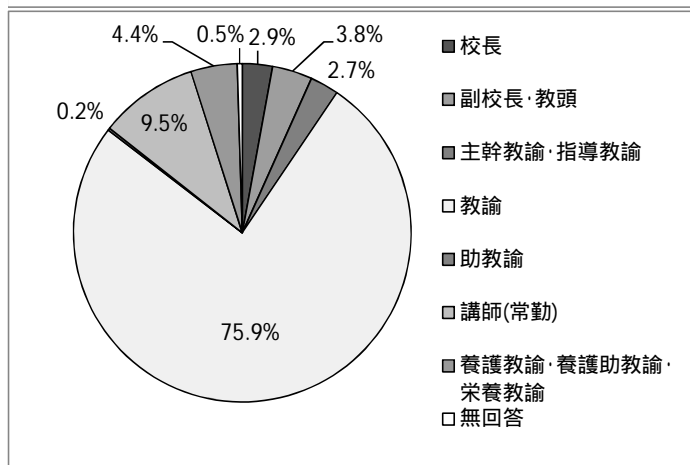
1-2. 調査結果

(1) 回答者の属性

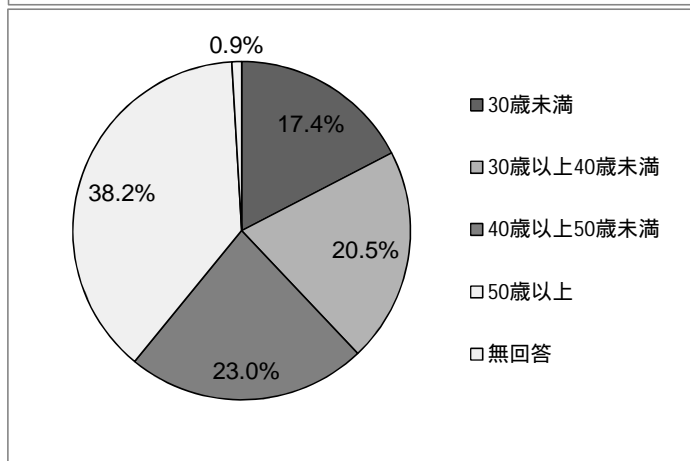
学校種



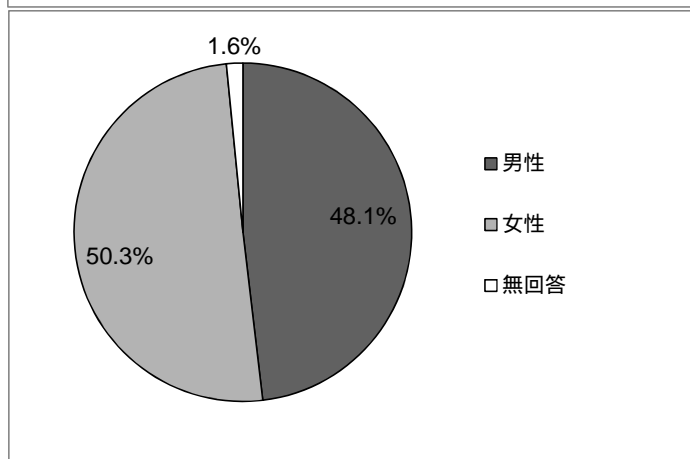
職



年齢



性別



(2) 現行調査結果

各項目の選択肢毎の回答結果及び「4」「3」を合計した割合は次のとおりである。(無回答を除く回答者に対する割合)

(%)

	選択肢	A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力			
		A - 1	A - 2	A - 3	A - 4
小学校	4	19.0	34.9	34.6	29.3
	3	55.7	53.2	49.6	52.4
	2	21.6	10.3	13.5	15.9
	1	3.7	1.6	2.3	2.5
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
中学校	4	20.5	42.9	44.7	31.8
	3	50.2	42.3	40.7	43.4
	2	24.9	13.4	12.5	20.8
	1	4.3	1.4	2.2	4.0
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
高等学校	4	27.3	47.6	46.5	33.1
	3	52.0	43.4	42.1	45.6
	2	18.1	7.7	9.3	17.2
	1	2.7	1.3	2.0	4.1
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
特別支援学校	4	12.9	35.8	33.7	19.8
	3	58.0	54.4	53.9	51.6
	2	26.1	8.7	10.8	24.5
	1	3.1	1.1	1.6	4.1
	計	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

学校種	A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力			
	A - 1	A - 2	A - 3	A - 4
小学校	74.6	88.1	84.2	81.6
中学校	70.8	85.2	85.3	75.2
高等学校	79.3	91.0	88.6	78.7
特別支援学校	70.8	90.2	87.6	71.4

(%)

選択肢	B 授業中にICTを活用して指導する能力				
	B - 1	B - 2	B - 3	B - 4	
小学校	4	25.6	19.9	20.6	16.5
	3	53.3	48.8	49.9	47.1
	2	18.4	26.4	24.5	30.2
	1	2.6	4.9	5.1	6.2
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
中学校	4	26.7	20.1	20.2	16.8
	3	44.1	41.4	43.3	41.0
	2	24.1	31.1	28.8	34.1
	1	5.1	7.3	7.6	8.1
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
高等学校	4	28.0	22.3	25.3	23.3
	3	45.7	46.1	47.6	45.9
	2	21.7	27.0	22.6	25.2
	1	4.6	4.6	4.5	5.5
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
特別支援学校	4	19.4	12.1	16.5	12.9
	3	56.5	52.3	54.2	47.1
	2	21.2	30.8	25.4	34.6
	1	2.9	4.9	3.9	5.4
	計	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

学校種	B 授業中にICTを活用して指導する能力			
	B - 1	B - 2	B - 3	B - 4
小学校	78.9	68.7	70.4	63.6
中学校	70.8	61.5	63.5	57.7
高等学校	73.7	68.4	72.9	69.2
特別支援学校	75.9	64.3	70.6	60.0

(%)

選択肢	C 児童生徒のICT活用を指導する能力				
	C - 1	C - 2	C - 3	C - 4	
小学校	4	20.1	14.2	13.0	13.7
	3	52.8	44.8	41.0	44.3
	2	22.3	33.0	35.7	33.1
	1	4.8	8.0	10.3	8.9
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
中学校	4	17.5	15.4	13.8	11.4
	3	42.4	36.0	35.6	32.5
	2	29.9	35.3	36.5	40.8
	1	10.2	13.3	14.1	15.4
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
高等学校	4	24.5	23.5	20.7	18.8
	3	45.6	42.9	42.3	40.9
	2	24.1	27.4	29.8	33.0
	1	5.8	6.2	7.2	7.3
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
特別支援学校	4	14.1	10.4	9.9	10.1
	3	48.5	38.6	38.1	43.2
	2	29.8	40.2	39.9	37.2
	1	7.6	10.7	12.1	9.5
	計	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

学校種	C 児童生徒のICT活用を指導する能力			
	C - 1	C - 2	C - 3	C - 4
小学校	72.9	59.0	54.0	58.0
中学校	59.9	51.4	49.4	43.8
高等学校	70.1	66.4	63.0	59.7
特別支援学校	62.6	49.0	48.0	53.3

(%)

	選択肢	D 情報モラルなどを指導する能力			
		D - 1	D - 2	D - 3	D - 4
小学校	4	22.7	24.2	22.8	19.8
	3	58.5	58.5	58.1	54.1
	2	16.2	14.8	15.8	22.6
	1	2.6	2.5	3.3	3.6
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
中学校	4	22.0	22.9	21.2	17.4
	3	52.5	52.9	52.5	48.0
	2	22.2	20.8	22.2	28.9
	1	3.3	3.4	4.1	5.7
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
高等学校	4	26.1	28.4	27.7	22.9
	3	53.2	52.6	52.6	49.8
	2	17.8	15.3	16.1	23.2
	1	3.0	3.6	3.6	4.1
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
特別支援学校	4	14.2	14.8	15.3	12.4
	3	51.5	52.5	53.0	49.1
	2	28.1	26.9	26.3	32.1
	1	6.2	5.7	5.4	6.4
	計	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

学校種	D 情報モラルなどを指導する能力			
	D - 1	D - 2	D - 3	D - 4
小学校	81.1	82.7	80.9	73.8
中学校	74.5	75.8	73.7	65.4
高等学校	79.3	81.1	80.3	72.7
特別支援学校	65.7	67.4	68.4	61.5

(%)

	選択肢	E 校務にICTを活用する能力	
		E - 1	E - 2
小学校	4	34.2	22.7
	3	49.6	49.9
	2	14.3	24.7
	1	1.9	2.7
	計	100.0	100.0
中学校	4	36.0	24.9
	3	44.3	44.0
	2	17.0	26.2
	1	2.8	4.8
	計	100.0	100.0
高等学校	4	38.7	30.3
	3	46.9	46.0
	2	12.4	20.3
	1	2.0	3.4
	計	100.0	100.0
特別支援学校	4	27.5	19.5
	3	48.3	47.1
	2	21.3	28.0
	1	2.9	5.4
	計	100.0	100.0

(%)

学校種	E 校務にICTを活用する能力	
	E - 1	E - 2
小学校	83.8	72.6
中学校	80.2	68.9
高等学校	85.6	76.2
特別支援学校	75.8	66.6

(3) 試行調査結果

各項目の選択肢毎の回答結果及び「4」「3」を合計した割合は次のとおりである。(無回答を除く回答者に対する割合)

(%)

	選択肢	A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力			
		A - 1	A - 2	A - 3	A - 4
小学校	4	20.3	28.5	34.3	24.9
	3	57.3	52.4	52.3	51.1
	2	19.3	16.9	11.8	20.8
	1	3.1	2.2	1.7	3.3
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
中学校	4	23.1	32.9	45.2	30.7
	3	48.9	46.9	40.9	44.3
	2	23.7	16.9	11.6	20.7
	1	4.4	3.2	2.3	4.3
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
高等学校	4	25.9	37.4	43.6	30.6
	3	53.0	48.1	47.3	47.1
	2	17.8	12.6	7.6	18.1
	1	3.3	1.9	1.5	4.3
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
特別支援学校	4	15.8	28.9	30.5	17.1
	3	58.2	50.8	51.4	47.1
	2	24.2	17.7	16.6	31.2
	1	1.8	2.6	1.4	4.6
	計	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

学校種	A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力			
	A - 1	A - 2	A - 3	A - 4
小学校	77.6	80.9	86.5	75.9
中学校	71.9	79.8	86.1	75.0
高等学校	78.9	85.5	90.9	77.7
特別支援学校	74.1	79.7	81.9	64.2

(%)

選択肢	B 授業中にICTを活用して指導する能力				
	B - 1	B - 2	B - 3	B - 4	
小学校	4	22.9	14.6	13.3	9.8
	3	53.9	46.0	42.8	36.6
	2	20.4	32.8	35.8	43.2
	1	2.8	6.6	8.2	10.3
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
中学校	4	26.7	15.2	12.1	10.2
	3	43.8	36.9	33.2	35.2
	2	23.8	37.7	40.9	39.7
	1	5.7	10.3	13.7	14.9
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
高等学校	4	25.3	18.1	14.8	16.6
	3	47.5	42.4	41.4	40.6
	2	22.1	32.4	35.4	33.4
	1	5.1	7.1	8.4	9.4
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
特別支援学校	4	17.3	9.1	10.7	7.2
	3	54.5	42.6	42.0	38.4
	2	25.4	40.8	39.9	43.5
	1	2.9	7.5	7.3	10.9
	計	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

学校種	B 授業中にICTを活用して指導する能力			
	B - 1	B - 2	B - 3	B - 4
小学校	76.7	60.6	56.1	46.5
中学校	70.5	52.0	45.3	45.4
高等学校	72.9	60.5	56.2	57.2
特別支援学校	71.7	51.7	52.7	45.6

(%)

	選択肢	C 児童生徒のICT活用を指導する能力			
		C - 1	C - 2	C - 3	C - 4
小学校	4	19.5	18.8	12.1	9.2
	3	53.0	53.1	39.3	35.8
	2	23.0	23.2	38.4	43.4
	1	4.4	4.9	10.2	11.6
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
中学校	4	17.3	18.3	15.3	10.8
	3	41.4	42.3	32.4	29.4
	2	30.1	29.0	37.7	42.8
	1	11.2	10.4	14.6	16.9
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
高等学校	4	22.5	22.6	20.3	15.7
	3	47.3	48.4	41.4	38.9
	2	24.9	23.4	31.1	36.2
	1	5.3	5.6	7.2	9.1
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
特別支援学校	4	13.1	12.0	9.4	7.0
	3	47.4	48.7	34.7	33.5
	2	30.7	29.9	43.0	44.6
	1	8.8	9.4	12.9	14.9
	計	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

学校種	C 児童生徒のICT活用を指導する能力			
	C - 1	C - 2	C - 3	C - 4
小学校	72.6	71.9	51.4	45.0
中学校	58.7	60.6	47.7	40.3
高等学校	69.8	71.0	61.7	54.6
特別支援学校	60.5	60.7	44.1	40.6

(%)

	選択肢	D 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力			
		D - 1	D - 2	D - 3	D - 4
小学校	4	21.4	21.8	17.4	19.3
	3	59.5	58.3	51.4	56.3
	2	16.1	16.6	26.2	20.9
	1	3.0	3.3	5.1	3.6
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
中学校	4	21.8	22.1	17.1	16.6
	3	54.2	54.3	43.6	48.6
	2	19.7	19.1	31.8	29.2
	1	4.4	4.5	7.5	5.6
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
高等学校	4	24.0	24.8	20.7	20.7
	3	53.6	54.4	49.3	52.9
	2	18.6	17.0	25.1	22.4
	1	3.8	3.8	4.9	4.1
	計	100.0	100.0	100.0	100.0
特別支援学校	4	12.7	13.5	11.6	12.2
	3	51.2	49.3	44.0	50.4
	2	29.9	30.8	35.2	30.8
	1	6.3	6.4	9.3	6.6
	計	100.0	100.0	100.0	100.0

(%)

学校種	D 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力			
	D - 1	D - 2	D - 3	D - 4
小学校	80.9	80.1	68.8	75.5
中学校	76.0	76.4	60.6	65.2
高等学校	77.6	79.2	70.0	73.5
特別支援学校	63.9	62.8	55.5	62.6

2.校長向け調査について

1. 調査概要

(1) 調査対象校の抽出について

試行調査の対象校の校長に準ずることとした。

(2) 調査対象者

調査対象校の校長 1 名

(3) 抽出後の学校への依頼調整について

調査対象校として抽出された学校には、所管の教育委員会を通じて、調査協力の依頼を行った。

(4) 調査期間

2017 年 3 月 1 日 3 月 9 日

(5) 調査方法

郵送調査

(6) サンプル数・回収結果

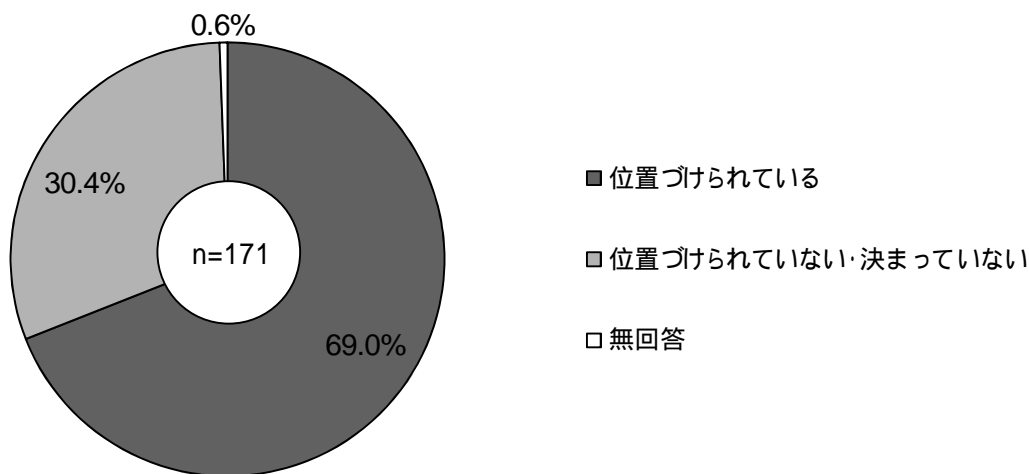
	対象数	有効回収数	有効回収率
小学校	120	106	88.3%
中学校	54	42	77.8%
高等学校	29	17	58.6%
特別支援学校	7	6	85.7%
合計	210	171	81.4%

2. 調査結果

(1) 学校経営における情報化推進の状況

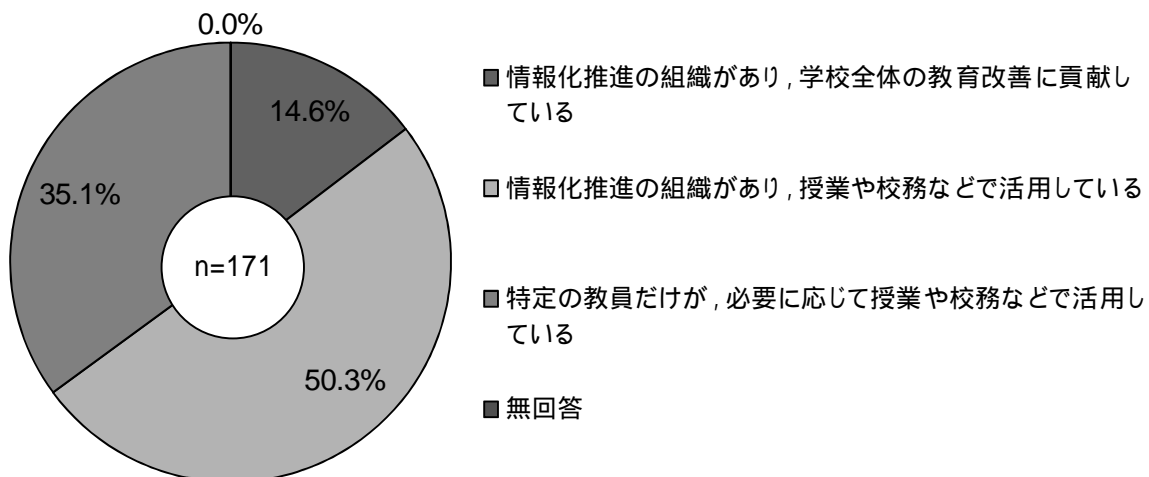
学校経営方針における教育の情報化への対応の位置づけ

「位置づけられている」が 69.0%、「位置づけられていない・決まっていない」が 30.4%となっている。



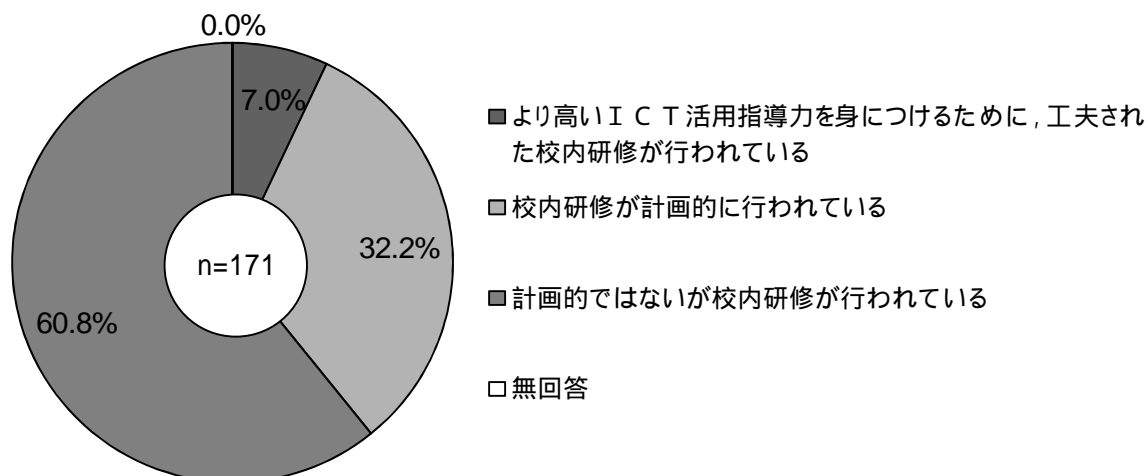
情報化推進体制の状況

「情報化推進の組織があり、授業や校務などで活用している」が 50.3%、「情報化推進の組織があり、学校全体の教育改善に貢献している」が 14.6%となっており、「特定の教員だけが、必要に応じて授業や校務などで活用している」は 35.1%である。



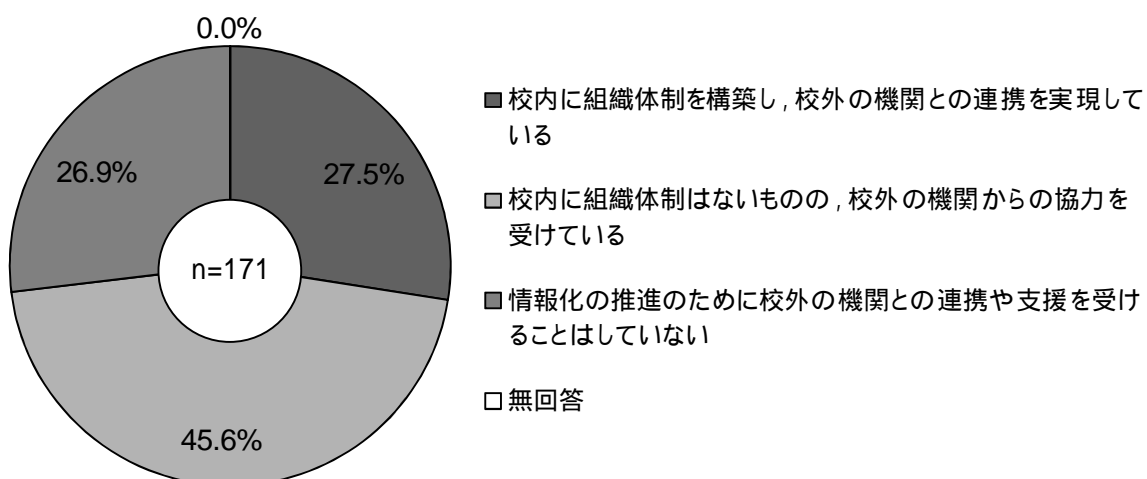
校内研修の実施状況

「計画的ではないが校内研修が行われている」が 60.8%、「校内研修が計画的に行われている」が 32.2%となっており、「より高い I C T 活用指導力を身につけるために、工夫された校内研修が行われている」は 7.0%である。



情報化推進に向けた校外の機関との連携

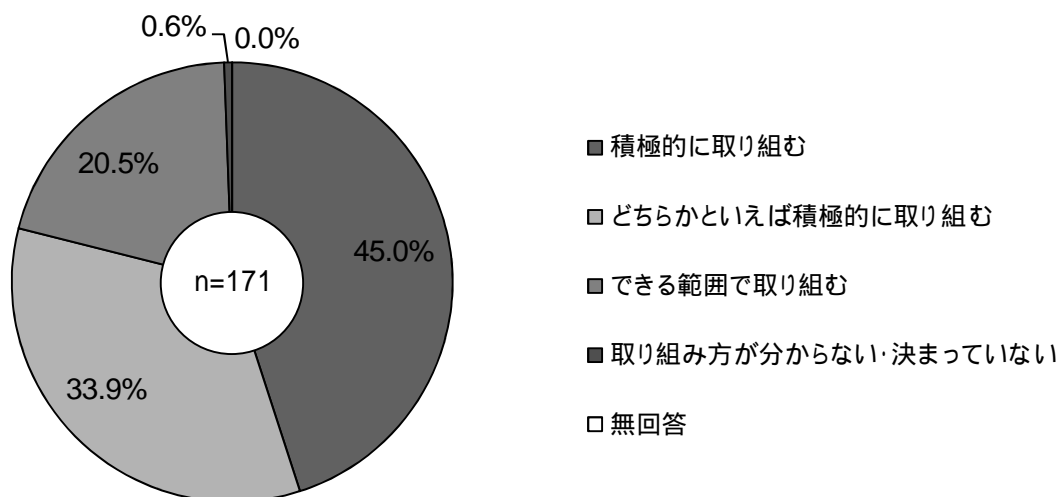
「校内に組織体制はないものの、校外の機関からの協力を受けている」が 45.6%、「校内に組織体制を構築し、校外の機関との連携を実現している」が 27.5%となっており、「情報化の推進のために校外の機関との連携や支援を受けることはしていない」は 26.9%である。



(2) 教員の「ICT活用指導力」向上に向けた校長自身の取り組み姿勢

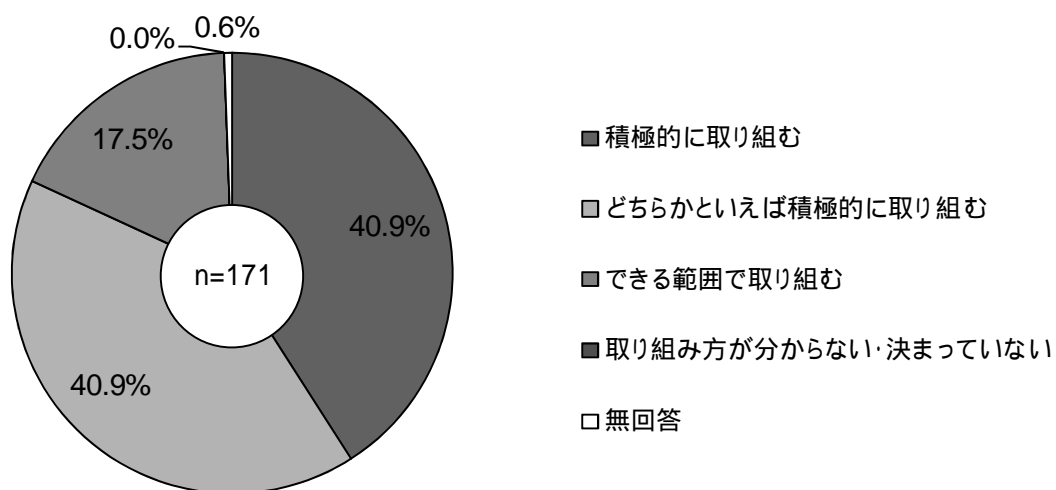
「教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力」を向上させる取り組み

「積極的に取り組む」が45.0%、「どちらかといえば積極的に取り組む」が33.9%となっている。



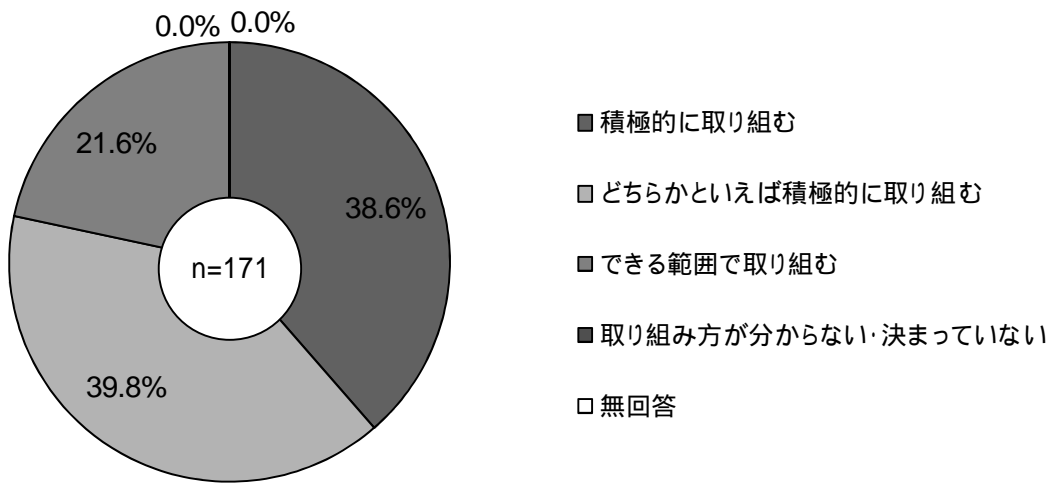
「授業にICTを活用して指導する能力」を向上させる取り組み

「積極的に取り組む」が40.9%、「どちらかといえば積極的に取り組む」が40.9%となっている。



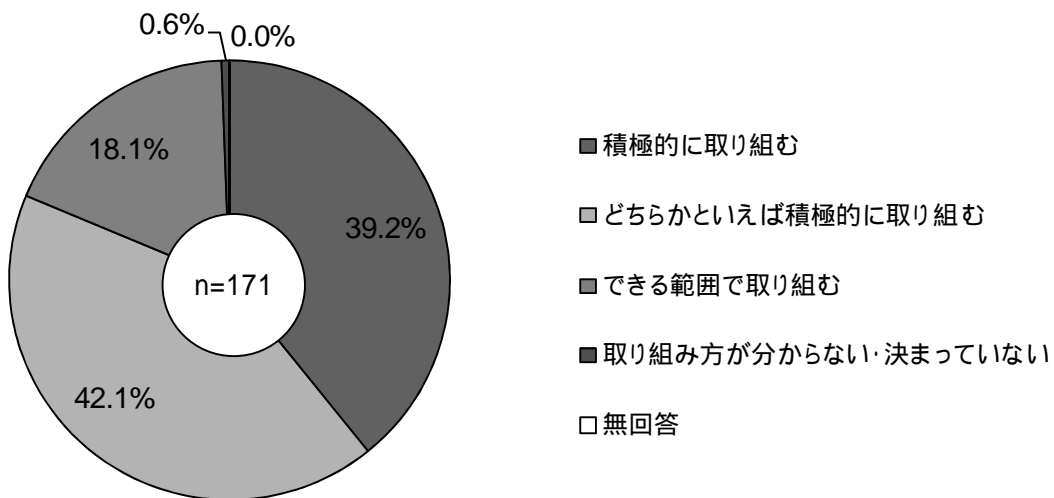
「児童生徒のICT活用を指導する能力」を向上させる取り組み

「積極的に取り組む」が38.6%、「どちらかといえば積極的に取り組む」が39.8%となっている。



「児童生徒の情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力」を向上させる取り組み

「積極的に取り組む」が39.2%、「どちらかといえば積極的に取り組む」が42.1%となっている。



(3) 教育の情報化の推進のために、校長自身に取り組んでいること

特に多く挙げられた項目は次のとおりである。

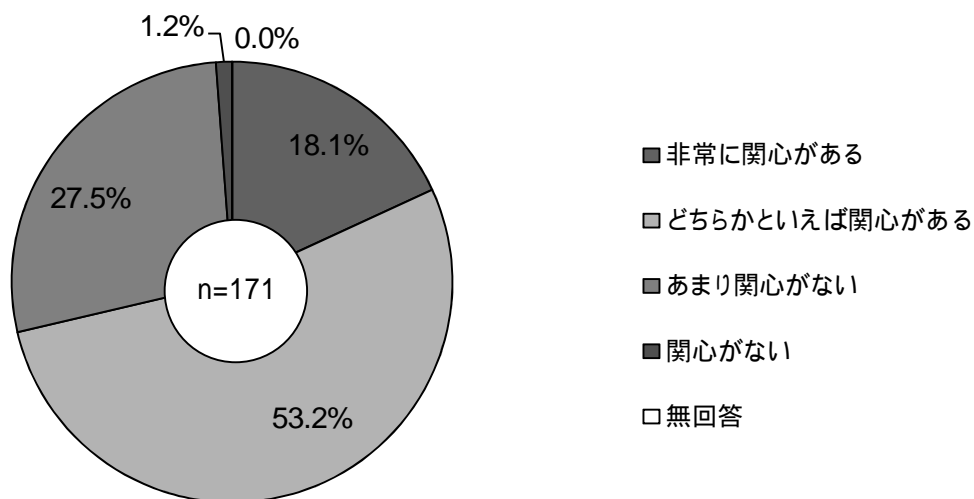
- ・情報化に関する情報の収集・提供、教職員への啓発
- ・朝礼等の講話での積極的なICT活用
- ・校務の情報化、負担軽減の促進
- ・指導事例・実践、先進校の事例紹介

- ・教育委員会等への働きかけ
- ・ホームページでの情報発信
- ・機器の積極的な活用

(4) 校長自身の I C T を活用した教育への関心度

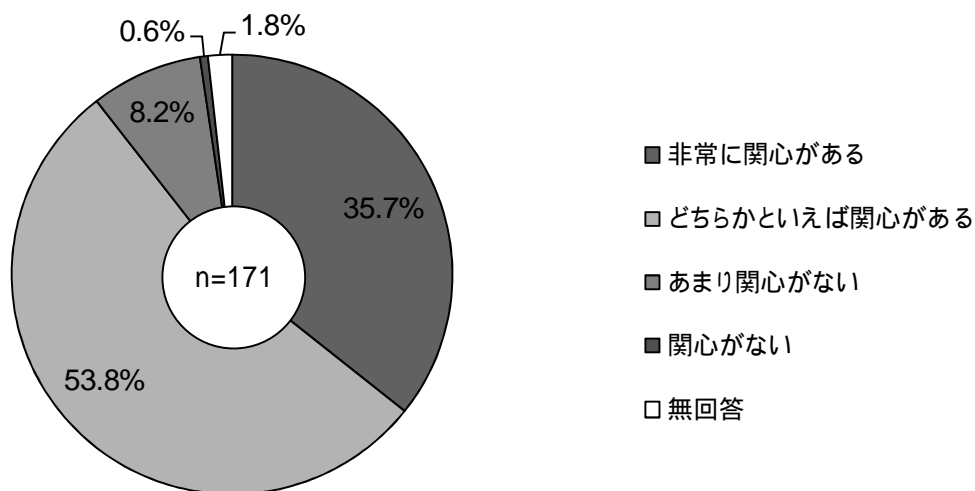
プログラミング教育の推進への関心

「非常に関心がある」が 18.1%、「どちらかといえば関心がある」が 53.2%となっている。



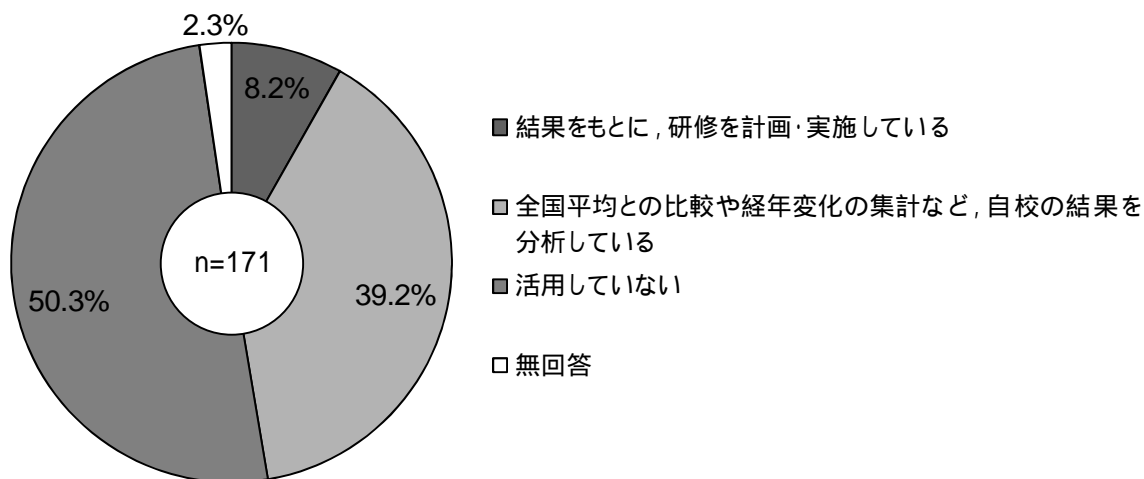
I C T を活用したアクティブ・ラーニングの推進への関心

「非常に関心がある」が 35.7%、「どちらかといえば関心がある」が 53.8%となっている。



(5) 「教員のICT活用指導力チェックリスト」の結果を教育の情報化の推進のために活用しているか否か

「結果をもとに、研修を計画・実施している」が 8.2%、「全国平均との比較や経年変化の集計など、自校の結果を分析している」が 39.2%、「活用していない」が 50.3%となっている。



(6) 教育の情報化を進めるうえで校長自身が大切だと思うこと

特に多く挙げられた項目は次のとおりである。

教員研修等に関すること

- ・教員がICT活用の効果について理解していること。教職員の意識改革。
- ・情報機器の有効な使用方法の研修（教員のICT活用資質の向上）

児童・生徒に対する指導等に関すること

- ・メディアリテラシー、情報モラルを向上させるための指導

環境整備に関すること

- ・ICT機器（PC、タブレット端末、電子黒板、プロジェクター等）、校内LANの整備・充実
- ・情報化推進のための効果的な組織づくり
- ・校内研修への外部講師の定期的な派遣（プログラミング教育等）
- ・ICT支援員、サポーターの確保
- ・ICT機器導入のための予算
- ・情報教育（活用能力）のための時間の確保

「教員のICT活用指導力の状況」の調査項目の改訂にかかる試行調査への協力をお願い

文部科学省では、毎年、教員のICT活用指導力を調査しています。この試行調査は、将来の調査項目（いわゆる「チェックリスト」）の内容を改訂することを目的に行います。日本教育新聞社ではこのたび、文部科学省の委託を受け、検討の参考とするため、新たな調査項目（案）による試行調査を実施致します。お忙しいところとは思いますが、試行調査へのご協力をお願い致します。

日本教育新聞社

【回答要領】

- 1 この調査の対象者は、「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」における「教員のICT活用指導力の状況」調査（以下、「現行調査」という。）と同じです。非常勤の方を除く全教員がご回答ください。
- 2 現行調査（「教員のICT活用指導力の状況」調査）に回答を済ませ、その結果をお手元にご用意ください。
- 3 回答は以下の手順（順序）により行ってください。
 - ① 現行調査に回答
 - ② 本調査票により、試行調査に回答
 - I あなた自身についての質問に回答
 - II 現行調査の回答を転記。
（「教員のICT活用指導力の状況」調査に回答した結果を、本調査票に転記）
 - III 試行調査（新たな調査項目（案））に回答
- 4 回答時間は概ね10分程度です。
- 5 試行調査項目については、現行調査にどのように回答したかにかかわらず、各項目を読んで率直に当てはまると思ったものをご回答ください。
- 6 回答後の本調査票については、全対象者分を各学校で取りまとめ、返信用封筒（レターパックライト）にて日本教育新聞社（事務局）に提出してください。本調査票は全体で4ページありますが、提出の際は、開いたり切り離したりしないで、2つ折りのまま重ねた状態で構いません。試行調査は事務局で集計・分析を行いますので、現行調査とは異なり、学校・教育委員会で集計する必要はありません（現行調査は、従来どおり教育委員会の指定する方法により提出してください）。

【試行調査】以下のI、II、IIIに回答してください。

I あなた自身について回答してください。

（回答欄に当てはまる番号を一つだけ記入してください）

						回答欄	
1	学校種	(1)小学校	(2)中学校	(3)高等学校	(4)特別支援学校		
	担当学年 ・学級等	「(1)小学校」と回答した先生					
		(1)第1, 2学年	(2)第3, 4学年	(3)第5, 6学年			
		(4)特別支援学級, 通級指導		(5)その他			
	「(2)中学校」と回答した先生						
	(1)通常の学級	(2)特別支援学級, 通級指導		(3)その他			
	「(4)特別支援学校」と回答した先生						
	(1)小学部	(2)中学部	(3)高等部	(4)その他			
2	職	(1)校長	(2)副校長・教頭	(3)主幹教諭・指導教諭			
		(4)教諭	(5)助教諭	(6)講師(常勤)			
		(7)養護教諭・養護助教諭・栄養教諭					

（調査は次ページに続く）

		回答欄
3 担当教科	中学校(中学部)又は高等学校(高等部)の先生, 小学校(小学部)で教科専任の先生 (複数担当している場合には主な担当を記入してください) (1)国語 (2)社会・地理歴史・公民 (3)算数・数学 (4)理科 (5)音楽 (6)図画工作・美術・工芸 (7)書道 (8)体育・保健体育 (9)家庭 (10)技術 (11)情報 (12)外国語 (13)農業 (14)工業 (15)商業 (16)水産 (17)看護 (18)福祉 (19)その他	
4 年齢 (本年3月1日現在)	(1)30歳未満 (2)30歳以上40歳未満 (3)40歳以上50歳未満 (4)50歳以上	
5 性別	(1)男性 (2)女性	

II 現行調査の回答を転記してください (当てはまる番号を○で囲ってください)

回答した調査票の種類	(1) 小学校及び特別支援学校の小学部用 (2) 中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校(小学部を除く)用
------------	---

A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力				
項目	回答			
A-1	4	3	2	1
A-2	4	3	2	1
A-3	4	3	2	1
A-4	4	3	2	1

B 授業中にICTを活用して指導する能力				
項目	回答			
B-1	4	3	2	1
B-2	4	3	2	1
B-3	4	3	2	1
B-4	4	3	2	1

C 児童生徒のICT活用を指導する能力				
項目	回答			
C-1	4	3	2	1
C-2	4	3	2	1
C-3	4	3	2	1
C-4	4	3	2	1

D 情報モラルなどを指導する能力				
項目	回答			
D-1	4	3	2	1
D-2	4	3	2	1
D-3	4	3	2	1
D-4	4	3	2	1

E 校務にICTを活用する能力				
項目	回答			
E-1	4	3	2	1
E-2	4	3	2	1

- 4:「わりにできる」
 3:「ややできる」
 2:「あまりできない」
 1:「ほとんどできない」

(調査は次ページに続く)

ここから試行調査項目（新たな調査項目（案））です。

Ⅲ 以下の各項目に回答してください

各項目について、「できる」、「ややできる」、「あまりできない」、「ほとんどできない」のうち最もよく当てはまるものを1つだけ選んで「○」で囲ってください。現行調査と同じような項目もありますが、現行調査でどのように回答したかにはこだわらず、各項目を読んで率直に当てはまると思ったものを選んで回答してください。

また、今年度、実際によく行った項目については、最右欄に「○」を記入してください。

	当てはまるもの1つだけに「○」				実際によく行った項目に「○」
	できる	ややできる	あまりできない	ほとんどできない	
A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力					
A-1 教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場면을計画して活用する。	4	3	2	1	
A-2 授業で使う教材や校務分掌に必要な資料などを集めたり、保護者・地域との連携に必要な情報を発信したりするためにインターネットなどを活用する。	4	3	2	1	
A-3 授業に必要なプリントや提示資料、学級経営や校務分掌に必要な文書や資料などを作成するために、ワープロソフト、表計算ソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。	4	3	2	1	
A-4 学習状況を把握するために児童生徒の作品・レポート・ワークシートなどをコンピュータなどを活用して記録・整理し、評価に活用する。	4	3	2	1	
B 授業にICTを活用して指導する能力					
B-1 児童生徒の興味・関心を高めたり、課題を明確につかませたり、学習内容を的確にまとめさせたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	4	3	2	1	
B-2 児童生徒に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり、比較検討させたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して児童生徒の意見などを効果的に提示する。	4	3	2	1	
B-3 知識の定着や技能の習熟をねらいとして、学習用ソフトウェアなどを活用して、繰り返し学習する課題や児童生徒一人一人の理解・習熟の程度に応じた課題などに取り組ませる。	4	3	2	1	
B-4 グループで話し合っって考えをまとめたり、協働してレポート・資料・作品などを制作したりするなどの学習の際に、コンピュータやソフトウェアなどを効果的に活用させる。	4	3	2	1	
C 児童生徒のICT活用を指導する能力					
C-1 学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能(文字入力やファイル操作など)を児童生徒が身に付けることができるように指導する。	4	3	2	1	
C-2 児童生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり、目的に応じた情報や信頼できる情報を選択したりできるように指導する。	4	3	2	1	
C-3 児童生徒がワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなどを活用して、調べたことや自分の考えを整理したり、文章・表・グラフ・図などに分かりやすくまとめたりすることができるように指導する。	4	3	2	1	
C-4 児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する。	4	3	2	1	

(調査は次ページに続く)

	当てはまるもの1つだけに「○」				実際によく 行った項目 に「0」
	できる	やや できる	あまり できない	ほとんど できない	
D 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力					
D-1 児童生徒が情報社会への参画にあたって自らの行動に責任を持ち、相手のことを考え、自他の権利を尊重して、ルールやマナーを守って情報を集めたり発信したりできるように指導する。	4	3	2	1	
D-2 児童生徒がインターネットなどを利用する際に、反社会的な行為や違法な行為、ネット犯罪などの危険を適切に回避したり、健康面に留意して適切に利用したりできるように指導する。	4	3	2	1	
D-3 児童生徒が情報セキュリティの基本的な知識を身に付け、パスワードを適切に設定・管理するなど、コンピュータやインターネットを安全に利用できるように指導する。	4	3	2	1	
D-4 児童生徒がコンピュータやインターネットの便利さに気づき、学習に活用したり、その仕組みを理解したりしようとする意欲が育まれるように指導する。	4	3	2	1	

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

「教員のICT活用指導力の状況」調査（いわゆるチェックリスト）に関連した
校長向け調査 ご協力をお願い

「教員のICT活用指導力の状況」調査（いわゆるチェックリスト）に関連して、貴校の教育の情報化（情報教育の推進、教科指導におけるICT活用、校務の情報化推進）の取組み等についてご回答いただきたく存じます。なにとぞご協力をよろしくお願い致します。

日本教育新聞社

(1) 貴校では学校経営方針に教育の情報化への対応が位置づけられていますか。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1. 位置づけられている | 2. 位置づけられていない・決まっていない |
|--------------|-----------------------|

(2) 貴校において情報化を推進するための体制はどの程度機能していますか。(〇は1つ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 情報化推進の組織があり、学校全体の教育改善に貢献している |
| 2. 情報化推進の組織があり、授業や校務などでICTを活用している |
| 3. 特定の教員を中心に、必要に応じて授業や校務などでICTを活用している |

(3) 貴校では教員のICT活用指導力向上のための校内研修がどの程度行われていますか。(〇は1つ)

- | |
|---|
| 1. より高いICT活用指導力を身につけるために、工夫された校内研修が行われている |
| 2. 校内研修が計画的に行われている |
| 3. 計画的ではないが校内研修が行われている |

(4) 情報化を推進するために校外の機関と連携していますか。(〇は1つ)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 校内に組織体制を構築し、校外の機関との連携を実現している |
| 2. 校内に組織体制はないものの、校外の機関からの協力を受けている |
| 3. 情報化の推進のために校外の機関との連携や支援を受けることはしていない |

(5) 貴校の教員の「教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力」を向上させる取り組みについて、校長ご自身はどのようにお考えですか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 積極的に取り組む | 2. どちらかといえば積極的に取り組む |
| 3. できる範囲で取り組む | 4. 取り組み方が分からない・決まっていない |

(6) 貴校の教員の「授業にICTを活用して指導する能力」を向上させる取り組みについて、校長ご自身はどのようにお考えですか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 積極的に取り組む | 2. どちらかといえば積極的に取り組む |
| 3. できる範囲で取り組む | 4. 取り組み方が分からない・決まっていない |

<裏面に続く>

(7) 貴校の教員の「児童生徒のICT活用を指導する能力」を向上させる取り組みについて、校長ご自身はどのようにお考えですか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 積極的に取り組む | 2. どちらかといえば積極的に取り組む |
| 3. できる範囲で取り組む | 4. 取り組み方が分からない・決まっていない |

(8) 貴校の教員の「情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力」を向上させる取り組みについて、校長ご自身はどのようにお考えですか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1. 積極的に取り組む | 2. どちらかといえば積極的に取り組む |
| 3. できる範囲で取り組む | 4. 取り組み方が分からない・決まっていない |

(9) 教育の情報化の推進のために、校長ご自身が取り組んでいることを具体的にお答えください。

(10) 校長ご自身は、プログラミング教育の推進に関心がありますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. どちらかといえば関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 関心がない |

(11) 校長ご自身は、ICTを活用したアクティブ・ラーニングの推進に関心がありますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. どちらかといえば関心がある |
| 3. あまり関心がない | 4. 関心がない |

(12) 貴校では、「教員のICT活用指導力チェックリスト」の結果を教育の情報化の推進のために活用していますか。(〇は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 結果をもとに、研修を計画し、実施している |
| 2. 全国平均との比較や経年変化の集計など、自校の結果を分析している |
| 3. 活用していない |

(13) 教育の情報化を進めるうえで校長ご自身が大切だと思うことを3つまで挙げてください。

・
・
・

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

本調査票は、長形3号封筒に入れたうえで、全教員対象の調査票とあわせて、事務局までご返送をお願い致します。